

研究代表者氏名	鈴木 英之			研究組織	5人	
所属機関・部局・職	東京大学・大学院工学系研究科・教授			所属機関所在地	東京都 文京区	
研究課題名	天然メタンハイドレートの最適生産・輸送・貯蔵方式に関する研究					
研究の概要等	<p>南海トラフをはじめとして、我が国の排他的経済水域内の大水深に多量に存在する天然メタンハイドレートの開発に向けて、生産方式および施設と生産したメタンの輸送方式を総合的に検討する。その上で最も効率的と考えられる生産方式と輸送・貯蔵方式を抽出し、コスト面から天然メタンハイドレート開発の採算性について検討を加え、最終的に最適な生産・輸送・貯蔵方式を提案する。</p> <p>生産施設としては、設置される海域が大水深であり、厳しい海象条件に曝されることを考慮して、浮遊式生産システムについて、メタンハイドレート生産のために特化、発展させた方式を検討する。また、輸送・貯蔵方式としてはガスで輸送する海底パイプライン、ガス以外の輸送方式として液化、ハイドレート化、GTLなどの技術により、液体あるいは固体で貯蔵し、船で輸送する方式について検討する</p>					
当該研究課題と関連の深い論文・著書（研究代表者のみ）	<p>1) 鈴木英之, 渡辺啓介 : "大水深ライザーの3次元傾斜角制御法の開発及び実験による検証", 日本造船学会論文集, 第188号, 2000, pp.335-342.</p> <p>2) Suzuki,H., Yoshida,K., Iijima,K. and Kobayashi,K. : "Response Characteristics of Semisubmersible-Type-Mega-Float in Waves and Accuracy of Hydroelastic Response Analysis Program VODAC", 21th International Conference on Offshore Mechanics and Arctic Engineering, OMAE2002/OSU28215, 2002.</p>					
研究期間	平成15年度～19年度（5年間）					
研究経費 （16年度以降は内約額）	平成15年度 千円 17,100	平成16年度 千円 11,600	平成17年度 千円 15,600	平成18年度 千円 9,400	平成19年度 千円 2,600	合計 千円 56300
ホームページアドレス	なし					